

【熟議①「ボランティアの充実」に向けてできることは？】

多くの意見が活発に出された。地域の企業や団体などを、具体的に例に挙げながら、ボランティアの充実に向けての意見交換が行われた。

【委員 A】

南区の事業所さんは家内工業に近いので、ボランティアとして関わっていただくことは難しい。ただ、企業 E さんは見学など快く受け入れをしてくださると思う。国定農産（稲作、販売）も見学などの可能性があると思う。

【委員 B】

玉野総合専門学校さんは、ボランティアのサークルがある。玉野市のイベントに参加してくださっている。お声をかけてはどうか。玉野市教委が学校に協力をしてくださる企業リストを持っていると思う。チャレンジワークや引きこもり支援に役立てようと動かれている。

【委員 C】

障害者職業センターに、「障害者雇用をしたいのだが…」という企業からの相談がある。すぐ雇用するとなると受け入れる企業側としても不安があるので、事前に障害をもった方と接する機会が欲しいと考えられている。

このようなニーズに応える形で、本校の学校公開で本校の説明や生徒の作業学習の様子を見学していただいてはどうか。

【委員 D】

小学校 3 年生の社会科で学習する「働く人の見学」で近くの企業を見学した。ヤクルトをいただいて、それを機械に入れて杭ができることを説明してくださった。とても分かりやすく好評だった。近くにある別の企業も、社員教育が素晴らしいそうなのでお声掛けしたい。

藤田中、興除中の校長先生は、チャレンジワークの協力企業のリストをお持ちなので、聞いてみてはどうか？→委員 D に両校長先生への確認をお願いした。

興除小は、人権週間中に岡山市の事業で予算をいただいて、家庭科の授業でミシン行う時の支援や給食の補助などお願いした。また、以前勤めていた小学校では、瀬戸支援学校が清掃ボランティアの依頼があり、お願いしたことがある。

芸術関係なら、大学の学生をお願いしてはどうか？幼児教育やリトミックや人形劇のサークルに尋ねてはどうか？体育館で全体ではなく、小学部にクラスごとにお招きしてはどうか？読み聞かせの団体もあって、興除小へは週 1 回来られている。